

2021

# 日本遺産大谷の

## 持続可能な地域づくり

STONE CITY  
OYA

作品募集 2021/11/1<sup>(月)</sup> 17時 締切

最優秀賞1点(副賞20万円) 特別賞1点(副賞10万円)  
優秀賞3点以内(副賞5万円) 佳作4点以内(記念品)

応募資格 建築を学ぶ学生, 実務, 建築に関わる市民など

対象地 宇都宮市大谷地区, 及び近辺の地区(詳細はWEB参照)

要求図面 提案図面A3(2枚), 提案概書A4(1枚),  
応募申込書A4(1枚), すべての電子データ

第二次審査 [公開] 2021年12月27日(月) 10時00分～  
(会場: 宇都宮市役所14階大会議室)

作品提出先 日本建築学会関東支部「提案競技」係  
問い合わせ 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20  
TEL 03-3456-2050 E-mail:kanto@aij.or.jp



<http://kanto.aij.or.jp/>

# 後援

PR

Oya, Stone City  
「大谷地域」の情報サイト

大谷石文化  
日本遺産  
大谷石文化サイト

地下迷宮の秘密を探る旅  
日本遺産 大谷石文化サイト

石の町、石切りの町、大谷。

宇都宮市・宇都宮市教育委員会

宇都宮観光コンベンション協会

宇都宮商工会議所  
The Utsunomiya Chamber of Commerce and Industry Since 1893

特定非営利活動法人  
宇都宮まちづくり推進機構

THE OYA STONE  
NPO法人 大谷石研究会

下野新聞社

一般社団法人 栃木県建築士会

一般社団法人 栃木県建築士事務所協会  
Tochigi Architect Office Association

(公社) 日本建築家協会  
関東甲信越支部

日本建築学会関東支部 第 22 回提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」

## 「こけのむすまで」 日本遺産大谷の持続可能な地域づくり

主 催：日本建築学会関東支部

後 援：宇都宮市、宇都宮市教育委員会、宇都宮観光コンベンション協会、宇都宮商工会議所、宇都宮まちづくり  
(予定) 推進機構、大谷石研究会、下野新聞社、栃木県建築士会、栃木県建築士事務所協会、日本建築家協会関東  
甲信越支部栃木地域会

### 趣旨

実在の市街地を対象に、今後の「まち」をテーマに建築・都市の専門家、地域に暮らす子供から大人までが参加する提案競技です。たてものやまちのことをみんなで考え未来を創造する機会とします。今回は宇都宮市大谷地区を対象として、日本建築学会関東支部と宇都宮市、各種関連団体が協力し公開審査、表彰式、作品展示を行う予定です。参加は、建築を学ぶ学生、実務者、まちづくりに関わる市民を対象とします。

### 課題

#### 日本遺産である大谷石文化を活かした地域活性化の提案

宇都宮市大谷地域では、大谷石を採掘し、当地や都市部などの建築物として顕現させる石文化を育んできました。また農村部には、伸びやかに広がる田園とともに蔵や塀に用いられた大谷石が創り出す素材感と陰影を含む素朴で温かみのある風景が広がっています。大谷石は道ばたの社や農業用の資材庫まで、その活用の姿は千変万化に富み、そして人々のこの地での営みに溶け込んでいます。城下町として発展した宇都宮の市街地においても、江戸時代以降には神社の石垣や教会、寺院、公共建築から民家の塀・蔵に至るまで、用途や身分、宗教の別によらず大谷石が使われてきました。いまでも町を歩けば、そこで風雨にさらされながら当地の幾星霜を見守ってきた大谷石の表情に出会うことができます。大谷石採掘は、明治以降には近代化の波とともに日本屈指の採石産業として発展し、東京や横浜などにも大量に出荷され、日本の発展の礎ともなりました。大谷石の活用の歴史と文化を地上に見いだすとともに、地下には大谷石を掘り出してきた歴史と文化を見ること

ができます。

かつて大谷には約 250 カ所の大谷石採掘場があり、現在はその巨大な地下迷宮の一部が資料館になっています。さて我が国では、文化財行政やまちづくりがしばしば「点」で行われ、面的／地理的ないし時間的拡がりをもつ取組として地域活性化に十分に活かされていないことが課題となってきました。地上と地下、都市と農村、当地と都市部という地理的拡がりをもち、観光と生活の二面性を備え、そして悠久の時の流れによって形成された石を、人々の暮らしの場に用いて新たに長い時間を共にするこの「大谷石文化」は、地域の拡がりと時間をつなぐストーリーを縦横無尽に編むキーワードとなります。

この地の歴史的経緯やこれからも続く魅力を見だし、それらを産業・観光の振興とともに発展させ、地方創生につなげる提案を募集します。宇都宮の大谷石文化は、「持続可能な地域形成」の礎となり、当地でこれからも永く、人々の生活を支えます。

### 応募資格

建築を学ぶ学生、実務者、まちづくりに関わる市民など。ただし、第一次審査を通過し第二次審査へ進出するのは日本建築学会の個人会員（正会員、準会員）とします。12月24日（金）までに所定の入会手続きを完了していない応募者は第二次審査へ進出できません。なお、入会資格は建築に関する学識・経験のある個人となっています。詳しくは、日本建築学会ホームページをご確認ください。共同制作者も同様です。

## 要求図面など

提案図面 (A3×2 枚以内)・提案概要書 (A4 用紙 ×1 枚)

- 1) 着目した現状や計画条件を図や写真等を用いて、わかりやすく説明してください。
- 2) 提案内容を、設計趣旨、図版 (ダイアグラム、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等) を自由に組み合わせ、表現してください (縮尺明記のこと)。必須図面はありません。ただし、模型、ビデオ等は受け付けません。なお、設計趣旨の概要を 600 字以内の文章にまとめ、10 ポイント以上の文字で図面中に記入してください。
- 3) 『提案図面』は A3 サイズ、2 枚 (297×420mm、サイズ厳守、変形不可、2 枚つなぎあわせることは不可) 以内。
- 4) 『提案概要書』は A4 サイズ 1 枚 (縦使い、文字は 10 ポイント以上) に図版数点 (任意) と提案趣旨をレイアウトしたもの。
- 5) なお、12/6 (月) に公表する一次審査通過者は、二次審査 (公開) に向けたパワーポイント資料、提出図面を元にした A0 サイズポスター 1 枚の作成を行う。ポスターは提出されたデータを事務局で出力し、12/27 (月) の二次審査時に掲示します。

## 対象地

別図で示す宇都宮市大谷地区、及び近辺の地区を対象とします。現地見学会は行いません。主要な建物、地域の概略説明は後ほど動画配信いたします。

→[別図](#) →[動画](#)

## 注意事項

- 1) 『提案図面』および『提案概要書』には、応募者の氏名・所属等がわかるようなものを記入しないでください。
- 2) 他の設計競技等と二重応募になる作品、あるいは既に発表された作品は応募できません。
- 3) 応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることは必須です。

## 提供資料

宇都宮市の都市計画などに関する資料は、日本建築学会関東支部ホームページに掲載します。

共催者への直接の資料請求は受け付けませんので、ご注意ください。

## 作品提出 (一次審査)

- 1) 提案図面 (A3 サイズ・2 枚)
- 2) 提案概要書 (A4 サイズ・1 枚)
- 3) 応募申込書 (A4 サイズ・1 枚、必須事項: 代表者・共同制作者氏名・日本建築学会会員の方は会員種別・会員番号・所属・代表者連絡先・住所・電話番号・E-mail アドレス) → [応募申込書](#)
- 4) 電子データ (CD-R 等、提案図面・提案概要書・応募申込書の PDF ファイルデータを記録) 以上を一括して封筒に入れ、厳封の上で提出してください。

## 提出方法

- 1) 郵送・宅配便または持参とします。なお、郵送等で提出される方で、受領通知が必要な方は、受領通知用の返信はがき (郵便はがきに代表者の住所、氏名を記入のこと) を同封してください。
- 2) 応募作品は 1 案ごとに別々に提出してください。
- 3) 応募締切 2021 年 11 月 1 日 (月) 17 時。持参の場合は平日 10 時～17 時に受け付けます (土・日曜、祝日は受け付けません)。郵送等の場合は締切日時必着とします。
- 4) 提出先: 後述の問い合わせ・作品提出先へ提出してください。

## 審査方式

### ●審査方法および発表

#### 1) 第一次審査 (非公開)

審査委員にて提案図面等を審査し、応募案の中から第二次審査へ進出するノミネート作品として決定します。審査日時の検討が必須。三橋先生の予定による。

#### 2) 第二次審査 (公開)

ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、同日審査を行い、各賞を決定して発表します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。また、PC プロジェクターは会場にご用意しますが、コンピュータなどは各自でご用意ください。

日時: 2021 年 12 月 27 日 (月) 10 時 00 分～

会場: 宇都宮市役所, 14 階, 大会議室

(栃木県栃木県宇都宮市旭 1 丁目 1-5)

### <プログラム>

- 10時00分～ ノミネート者によるプレゼンテーション  
(説明時間5分, 質疑時間5分)  
12時30分～ 審査  
14時00分～ 審査結果発表, 表彰式

### 3) 入賞者発表

- ・第一次審査の結果は12月6日(月)までに日本建築学会関東支部ホームページに公表し、第二次審査に進出するノミネート者には個別に代表者へ通知します。
- ・第二次審査の結果は、第二次審査終了後に会場にて発表します。
- ・入賞作品、審査講評は、後日、日本建築学会関東支部ホームページに公表します。

### 4) 入賞作品展示会

- ・宇都宮市役所(栃木県栃木県宇都宮市旭1丁目1-5)
- ・建築会館ギャラリー(東京都港区芝5-26-20)
- ※日程は後日決定

## 審査委員会

特別審査委員:

佐藤 栄一(宇都宮市長)

審査委員長:

三橋 伸夫(宇都宮大学名誉教授)

審査委員:

塩田 潔(大谷石研究会 理事長)

柴田 道夫(栃木県建築士会 会長)

佐々木 宏幸(栃木県建築士事務所協会 会長)

増山 正明(足利大学名誉教授)

大嶽 陽徳(宇都宮大学)

## 賞

最優秀賞1点(賞状, 副賞20万円)

特別賞1点(賞状, 副賞10万円)

優秀賞3点以内(賞状, 副賞5万円)

佳作4点以内(賞状, 記念品)

なお、入賞作品の提案につきましては、今後の宇都宮市のまちづくりの参考とさせていただきますが、実現化については未定です。

## 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。ただし主催者および後援者が、この事業の主旨に即して入賞作品を日本建築学会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示等の公表のために用いる場合は、入賞者は無償でその使用を認めることとします。また、主催者および後援者が『提案図面』および『提案概要書』の全体あるいは部分を活用することについて承諾することを前提とします。

## 現地調査に当たり厳重注意事項

- ・許可無く敷地や建物に立ち入らないこと。
- ・写真を撮影する場合は、財産権、著作権、肖像権等に十分配慮すること。

## その他

- ・応募作品および関係書類は返却しませんので、作品の控えやデータは必ず保存してください。
- ・審査に関する質疑は受け付けません。
- ・応募規定に違反した場合は授賞を取り消すことがあります。
- ・その他詳細は日本建築学会関東支部ホームページに掲載します。

## 問い合わせ・作品提出先

日本建築学会関東支部「提案競技」係

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

電話: 03-3456-2050

E-mail kanto@aij.or.jp

http://kanto.aij.or.jp/